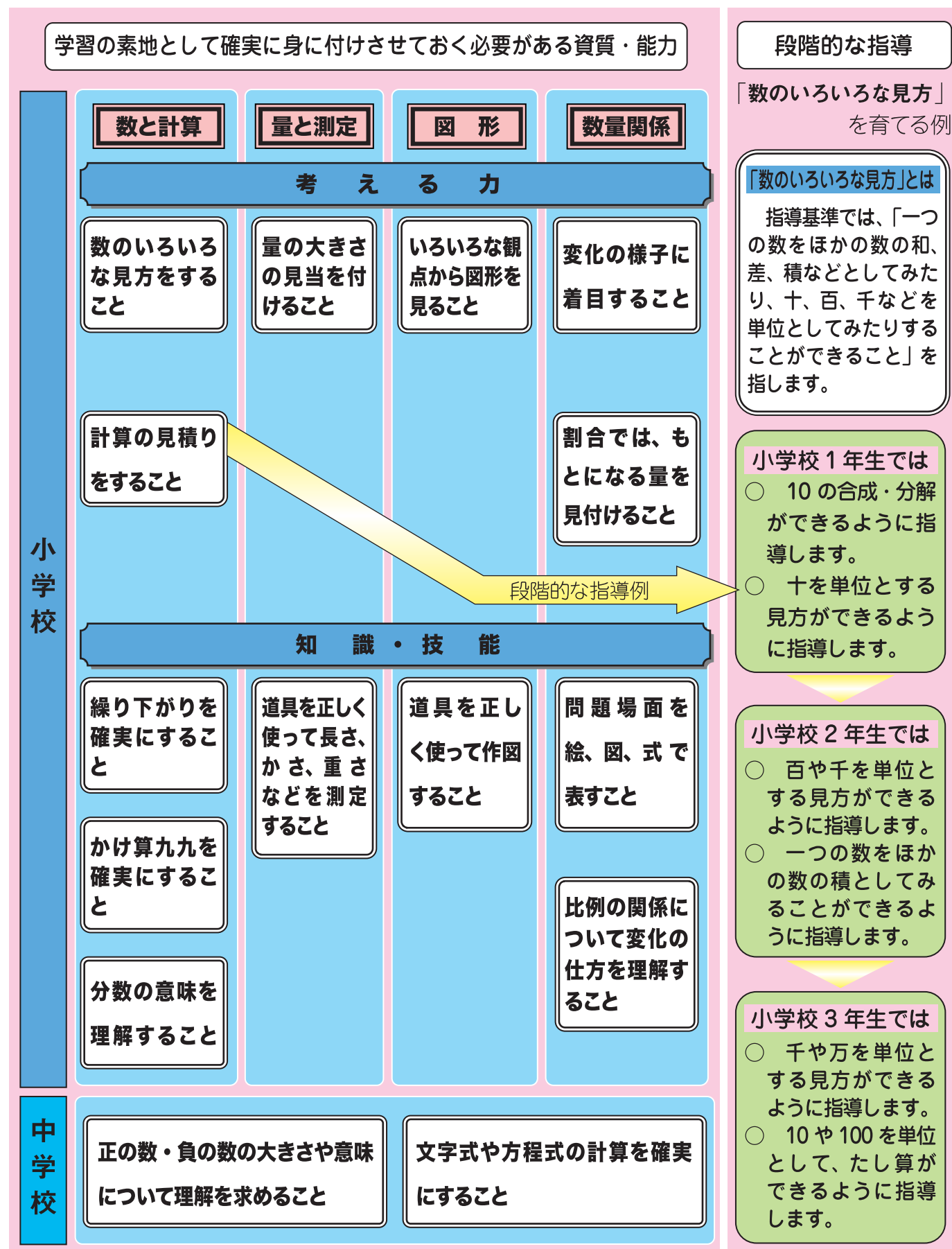


3 算数・数学の「東京ミニマム」

算数・数学では、小学校学習指導要領の指導内容である「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の4領域と、中学校学習指導要領の指導内容である「数と式」の領域を踏まえて、15 事項を示しています。



東京ミニマム 家庭でのサポート 算数・数学編

左のページに示した算数・数学の「東京ミニマム」の各事項を身に付けさせるために、ご家庭においてできる取組の例をいくつか紹介します。

日常生活の中で 見付けましょう

～ 例えば、身近な出来事を… ～

水の深さは何cmかな？

お風呂に水を入れます。1分後の深さは5cm、2分後の深さは10cmです。
・ 10分後の深さは何cmになりますか。
・ 深さが60cmになるのは何分後ですか。

💡 本の、読んだページ数と残りページ数などのように、一方が変わると、もう一方が変わるものを見付けさせましょう。

伴って変わる2つの量
—数量関係—

体験させ、実感させることを 大切にしましょう

～ 例えば、身のまわりのもので… ～

何杯分になりそうかな？

ジュースを小さなコップに移してみましょう。



💡 牛乳パックなどを持たせて、重さやかさを体感させ、1ℓや1kgなどの量感を生活経験からつかませましょう。

量の大きさについての見当付け
—量と測定—

およその数を 見積もりましょう

～ 例えば、買い物に行ったとき… ～

1000円で買えるものの組み合わせは？

 サンドイッチ 198円	 せんべい 305円	 ケーキ 275円
 アメ 42円	 ジュース 120円	 弁当 450円

💡 値段をおよその数で考えると大変便利です。買い物のときには、子供に「代金はおよそいくらになるかな。」とたずねてみましょう。

計算の見積り
—数と計算—

図形に親しみ 生活の中に生かしましょう

～ 例えば、しきつめてみると… ～

図形をしきつめよう！

同じ大きさ、形の三角形をたくさん作って、しきつめてみましょう。



💡 どのような図形でしきつめができるか、台所や広場のタイル、模様などを探させてみましょう。

平面図形、立体図形
—図形—